

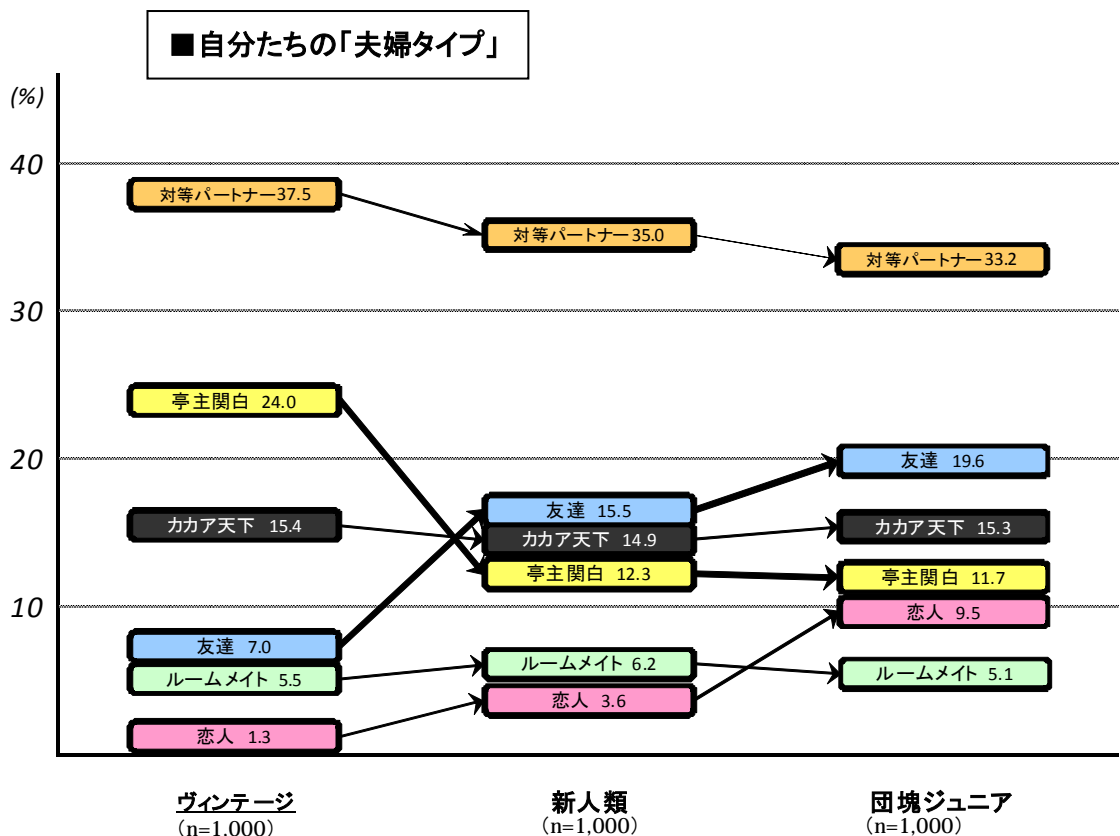
2009年4月9日

～自分たち夫婦が当てはまる夫婦タイプ～

「亭主関白」から「友達」へと姿を変える、若い世代の夫婦像。 ただし、「カカア天下」は健在。

株式会社 I&S BBDO(本社:東京都中央区、代表取締役社長:野副正行)プランニンググループは、「ヴィンテージ・ジェネレーション」(1937年～1953年生まれ/現55～72歳)・「新人類世代」(1960年～1968年生まれ/現40～49歳)・「団塊ジュニア世代」(1972年～1981年生まれ/現27～37歳)の三世代を比較する調査を2008年9月に実施し、「自分たち夫婦のタイプ」について結果をまとめました。

「自分たち夫婦が最も当てはまると思う夫婦タイプ」として、6タイプ【対等パートナー、亭主関白、カカア天下、友達のように、恋人のように、ルームメイトのように】から一つを選んでもらったところ、三世代間で特徴的な結果が見られました。(※回答者は、夫、妻のいずれか一方の調査対象者)



三世代共通で最も高かったのは「対等パートナー」で、いずれも全体の3分の1前後を占めたものの、シェアは年代が若くなるにしたがってやや低下の傾向。代わって「友達のように」が若い世代ほど高くなり、団塊ジュニアではほぼ2割を占め第2位となっています。これと全く逆の推移を示しているのが「亭主関白」で、ヴィンテージでは約4分の1を占め、「対等パートナー」に次ぐボリューム層だったものの、新人類、団塊ジュニアではいずれも1割そこそこで第4位に沈んでいます。「夫 主権」型の夫婦像は、世代が若くなるにしたがって急速に非主流派となり、代わって新人類・団塊ジュニアではより自然体でカジュアルな方向へシフトが見られます。ただし、そうした中でも、「カカア天下」は、いずれの世代でも15%前後のシェアで第3位と“超・安定勢力”となっています。その他、ヴィンテージ、新人類では低シェアで最下位だった「恋人のよう」が、団塊ジュニアでは約1割を占め「亭主関白」に僅差で迫る第5位へと上がっており、まだ子供がいない夫婦二人だけのケースを含め、この世代での“スイート”な一面もうかがわせています。日常の家庭生活全般にわたるトーン形成に大きく影響する「夫婦のあり方」においても、世代間での格差がはっきり見てとれました。

■調査概要

- | | |
|---------------------|---|
| ◆調査対象 | : 以下の三世代 |
| ①ヴィンテージ・ジェネレーション(*) | : 1937年～1953年生まれ（現在 54～71歳）
配偶者と同居、かつ子供がいる男女 |
| ②新人類世代: | 1960年～1968年生まれ（現在 39～48歳）
配偶者と同居、かつ子供がいる男女 |
| ③団塊ジュニア世代: | 1972年～1981年生まれ（現在 26～36歳）
配偶者と同居（※両親の生年条件あり） |
| ◆調査方法 | : ①は郵送調査、② ③についてはインターネット調査 |
| ◆調査地域 | : 全国 |
| ◆調査時期 | : 2008年9月18日（木）～10月3日（金） |

(*)「ヴィンテージ・ジェネレーション」…

「豊富な生活経験を通して成熟したバリュー意識を備え、生き生きとした未来志向を携えた購買力豊かな生活者」と定義づけ、2007年11月に当社が発表。

以上

☆調査結果のより詳しい内容についてのお問い合わせ☆

プランニンググループ インフォメーションリソースセンター
小坂・鴨田 Tel.03-6221-8606

☆広報的なお問い合わせ☆

アドミニストレイティブグループ 広報担当
宮下 Tel.03-6221-8523